

旧永瀬家住宅 主屋、井戸



指定区分	国登録有形文化財(建造物)
読みかた	きゅうながせけじゅうたく しゅおく いど
所在地	赤磐市松木
指定年月日	平成29年10月27日
解説	<p>主屋は、明治前期の建造物で、木造2階建、入母屋造鉄板葺、正面左に入口を開き、やや不整形の土間を通す。奥の土間はレンガを四半に敷く。床上部は田字型で、2階もほぼ同様の構成をとる。日本の女性詩人の草分けと言われた永瀬清子の生家であり、地元で広く親しまれている。</p> <p>井戸は、主屋南東方に建ち、荒石を円筒形に組み上げ、上部井桁は石板で正方形に組む。上家は木造棧瓦葺で、柱をやや内転びに立て、北面、東面及び南面東寄りには縦板壁とし、西面と南面西寄りには吹放ちとする。永瀬清子の詩にも描かれた井戸である。</p>
アクセス方法	JR山陽本線熊山駅下車 車で約5分山陽自動車道和气ICまたは山陽ICから車で約15分
公開状況	主屋：詩人月命日の17日14時～16時公開、そのほかの団体見学はこの限りにあらず要予約にて対応します。井戸：公開
設備	トイレ  駐車場 
備考	